

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2021年8月25日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

くらしでいけない。生活保護を利用できますか？

8月21日「コロナ災害を乗り越える いのちとくらしを守る なんでも電話相談会」

深刻な相談相次ぐ 札幌会場は22件の相談

8月21日(土)10時から、全国で、9回目の「コロナ災害を乗り越える いのちとくらしを守る なんでも電話相談会」が行われ、札幌会場にも22件の相談が寄せられました。

札幌会場は、反貧困ネット北海道と雇用・くらし・SOSネットワーク北海道の共催で、弁護士、司法書士、医療ソーシャルワーカー、労働・生活・営業・子育てなどの相談員23人が相談に応じました。当日は、テレビやラジオでも紹介されました



相談の特徴

- 【相談件数】 22件(北海道16件・福島県2件・栃木県2件・群馬県1件・東京都1件)
- 【相談地域】 札幌市6件・小樽市2件・江別市1件・函館市1件・登別市1件・室蘭市1件・八雲町1件
- 【相談者年齢】 30代1人、40代2人、50代6人、60代6人、70代以上1人
- 【相談者性別】 女性10人、男性12人
- 【相談内容】 生活費問題12件(生活保護8件)
・事業問題3件・労働問題5件
・住宅問題1件・その他

「緊急小口資金・総合支援資金を使い尽くした」

コロナ災害が長引き、広がっています。自営業者からは、「仕事が減り、経営がなりたない。これ以上借金しても返す見通しがたない」、労働者からは、「ダブルワークしているが、一つの仕事が減り、経済的に大変」などの声が寄せられました。

しかし、菅内閣は新型コロナ対策を拡充せず、縮小・廃止しています。業者対象の「持続化給付金」「家賃支援給付金」や学生支援給付金も廃止しました。

相談では、「緊急小口資金・総合支援資金を上限まで借りたが、生活の見通しがたない」という方が多く、「失業給付も打ち切られました」という人も。「家や車があるので生活保護が利用できないと思っていました」という声も多く寄せられました。

相談活動を広げましょう

『道民のくらしの役立つハンドブック
2021-2022年度版』8月末完成



定価200円据え置き
A5判 81ページ
制度改定に伴い内容充実(新型コロナ制度・外国人の社会保障も)
申込は道社保協まで

今後の相談会の予定
9月15日(水)
チカホ相談会
10月23日(土)
電話相談会

札幌市が「生活保護の申請は国民の権利です」 ポスターを作成・区民センターに掲示

札幌市が「生活保護の申請は国民の権利です」ポスターを作成し、区民センターに掲示しています。

道生連は、札幌市に対して、生活保護の申請は国民の権利であることを市民に伝えるため、ポスターやチラシの作成を求めてきました。

札幌市は「ポスターは自由に使ってほしい」と説明しています。

